



Vol. 39 No. 4  
2023. Feb



秋田県作業療法士会 印刷 川嶋印刷株式会社

発行 一般社団法人 秋田県作業療法士会 ホームページ <http://akita-ot.jp/>

会長 高橋 敏弘

編集 一般社団法人 秋田県作業療法士会 広報誌編集部  
〒018-5421 秋田県鹿角市十和田大湯字湯ノ岱 16-2  
大湯リハビリ温泉病院 作業療法室・児玉 達則  
TEL 0186-37-3511 FAX 0186-37-3483

E-mail : [akita\\_ot\\_kouhou@akita-ot.sakura.ne.jp](mailto:akita_ot_kouhou@akita-ot.sakura.ne.jp)

事務局 〒010-0041 秋田県秋田市広面字屋敷田 25-2 セジュールエスト 105 号

TEL/FAX 018-837-0552

E-mail [akita\\_ot@akita-ot.jp](mailto:akita_ot@akita-ot.jp)

広報部の  
メールアドレスが  
変更になりました!!



## 巻頭言 「生きがい」「生きる意味」について

中通リハビリテーション病院 湊 洋太

今冬の秋田市は雪が少なく、暖かい日が続いています。この1月で新型コロナウイルスの流行が始まってから3年が過ぎますが、まだ収束は見通せない状況です。

さて、私は昨年1月、秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー養成研修を修了し、現在県内における自立支援・介護予防の普及啓発のお手伝いをさせていただいています。昨年11月には「生きがいを見つけて支える」というテーマを頂き、お話をする機会がありました。それに先立ち、私自身の「生きがい」は何か考えてみましたが、これといったものを思いつきませんでした。果たして「生きがい」や「生きる意味」はどのようにして見つければよいのでしょうか。誰かに教えてもらうのは少し違う気がしますし、簡単に見つけられそうにありません。でも、それがないと生きていくのが大変な気がします。

そのようなことを考えているときに、動画共有サイトでおすすめに挙がってきた「病気により片腕を切断した芸人」、「男女二人で車で日本一周をしている途中でstage4のすい臓がんが見つかった女性」、について知りました。この方たちはなぜ動画で自身について発信するのだろう、この方たちの「生きがい」や「生きる意味」とは何だろうと思いました。私とその人たちの立場だったら、動画を発信することなどできず、「自分はもう生きる意味がない」と考えて、誰にも会わずにただ塞ぎ込んで過ごすかもしれません。

ナチスによるホロコーストから生還したオーストリアの精神科医、V. E. フランクルは著書「夜と霧」の中で「人間が人生の意味は何かと問うに先立って、人生のほう人間に問いを發している。だから人間は、ほんとうは、生きる意味を問い求める必要なんかないのだ。人間は、人生から問われている存在である。人間は、生きる意味を求めて人生に問いを發するのではなく、人生からの問いに答えなくてはならない。」と言っています。

程度の差こそあれ、私たちは日々自分なりに考え、苦悩しながらもそれぞれの人生を生きています。私自身も20代の頃、人生や生きる意味について深く考え、悩んだ時期がありました。振り

返ってもとてもつらく、あの頃には戻りたくないと強く思います。しかし、フランクルの言葉を受けて今振り返ると、それは私自身が「生きる意味」を模索して足掻いていた時期であり、同時に人生が私に発した問いに一生懸命答えようとしていたのだと思います。

長い人生の中では楽しいことばかりでなく、辛いこと、悲しいこともあり、時には死を考えたりすることもあるかもしれません。そんな時、「なぜこんなに苦しい思いをして生きなければいけないのだろう」と生きる意味について人生に問いたくなることもあるかもしれません。ですが、フランクルの言うように、辛いことも、悲しいことも、人生それ自体が自分に問いを発していると考え、それに自分は耳を傾け、誠実に答えていくことが重要であるということです。上で挙げた動画配信者たちもきっと、人生の発した問いに向き合い、視聴者に向けて自身を表現しながら、その問いに答えようとしているのではないのでしょうか。

私たちが日々向き合う対象者も、悩みを抱え、様々な喪失を体験し、「生きがい」や「生きる意味」を模索してもがいているかもしれません。私たちは作業療法士として、その方の人生が発する問いと一緒に耳を傾け、そして向き合い、答えるための支援ができればいいですね。私自身も人生が発する問いに対して辛い時も悩みながら誠実に向き合い、答え続けていきたいと思っています。



## 令和4年度 秋田県環境・保健事業功労者表彰

秋田県環境・保健事業功労者表彰とは県民の健康づくりや衛生・環境等に対する意識高揚を図るため、県民の健康づくり、衛生水準の向上及び生活環境の改善に貢献された方へ授与されます。この度、4名の方が受賞されたことを受け、受賞された先生方からお言葉を頂戴することができましたのでご紹介します。

### 「感謝」

会長 高橋 敏弘

この度、秋田県の環境・保健事業功労者表彰に県作業療法士会の候補推薦を頂き、受賞することになりました。私はこの3月で定年退職となりますが作業療法士として一区切りとなる時にこのような賞をいただき大変光栄に思っております。

また、県士会の活動を支え、ご協力いただいた会員の皆様にも心より感謝いたします。

県内の作業療法士も600人を超えるまでになり、患者さんや利用者さん、他職種等からの作業療法士へのニーズも高まってきました。多様なニーズと期待に応えられる作業療法士集団としての県士会の役割はさらに重要になってきます。コロナ禍が続く皆様と直接会ってお話する機会が少なくなっていますが、今後も研修会などを通して作業療法はどうあるべきかを一緒に考えていけたらと思っています。

最後に県士会会員の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

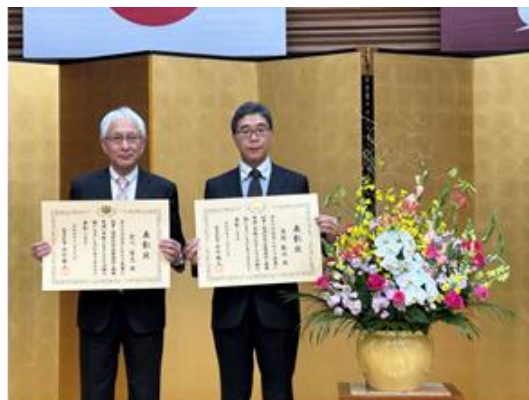
ありがとうございました。

## 「秋田県環境・保健事業功労者表彰を受賞して」

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 石川 隆志

この度は秋田県作業療法士会役員の皆様のご推薦をいただき、令和4年度秋田県環境・保健事業功労者として表彰いただきました。昭和62年に中通りハビリテーション病院に入職後、秋田大学医療技術短期大学部、同医学部保健学科、同大学院医学系研究科と35年間にわたり作業療法士として勤務してこられたのも、それぞれの職場の先輩や同僚の皆様、そして秋田県作業療法士会の皆様にご支えていただいたからだと思います。本当にありがとうございました。

4月からは地域作業療法の臨床に戻りますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 「環境・保健事業功労者表彰を受けて」

有限会社 ケアサプライ なかみちケアセンター 石川 佐智子

この度、上記表彰を作業療法士会の推薦をいただき、そんな大げさなことは何もしていないのですが、皆様のお力添えをいただきながら、長年頑張ってきたことへのご褒美かなと、お受けしました。

推薦の話をいただいた時には、環境?保健?と思いましたが、大きく言えば県民の健康づくりとの事でしたので、それならば様々な仕事を通して少しは役立てたのかな、と思っています。何より自分の丈夫な体（県士会に入ったころより10kgほど体重は増えましたが…）と、めげない心、そして皆さんの励ましで仕事を継続できていることに感謝したいと思います。

## 「感謝申し上げます」

大湯リハビリ温泉病院 高橋芳徳

この度、秋田県作業療法士会よりご推薦をいただき、令和4年度秋田県環境・保健事業功労者として表彰されることとなりました。

これといった功績もない私をご推薦いただき、還暦を迎える区切りの年に、このような賞を受賞でき大変うれしく思います。

県士会活動へも長年にわたり関わらせていただきましたが、力不足の私をこれまで導いてくださいました歴代会長はじめ理事・役員の皆様、そして士会活動へのご理解・ご協力のもと支えていただきました会員の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、39年間にわたる勤務を支えていただいた当院の諸先輩や同僚・後輩の皆様にも心より感謝申し上げます。

今後はもうしばらくの間、この生まれ育った地域において、対象者の暮らしの再構築や、地域に生じる作業療法やリハビリテーションに対するニーズに微力ながら向かい合っていきたいと思っております。皆様には、引き続きお付き合いをお願いいたすとともに、コロナ禍が落ち着き、皆様と直接会える日を楽しみにしております。

最後になりますが、県士会員の皆様のますますのご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。この度は本当にありがとうございました。



# 職場紹介

## ◆ 介護老人保健施設 ほのぼの苑 ◆

三浦 正

社会医療法人正和会は潟上市を中心に医院や施設を男鹿南秋地区から秋田市内にかけて展開しており、社会福祉法人や関連会社も合わせると 56 事業所で医療・介護・4 福祉サービスの提供を行っています。令和 4 年 2 月には社会医療法人の認可を受け、24 時間対応の訪問看護・介護や配食サービスなどを提供し急性期から看取りまで幅広い対応をすることで社会的役割を果たせるよう取り組んでおります。

その中で私が勤務するほのぼの苑は、秋田県潟上市に位置する介護老人保健施設です。入所サービスは定員 100 名、その他通所サービスは定員 50 名となっており、リハビリスタッフは、作業療法士 5 名、理学療法士 3 名、言語聴覚士 1 名、助手 1 名の計 10 名となっています。当苑のリハビリ科は、専門性を高めながらも、多職種連携の推進に重きを置き、職種間の潤滑油的な存在になれるよう日々奮闘しております。その理由としては、近年老健の機能が見直されている背景があります。在宅復帰や看取りの機能を果たしながらも、より地域に根づいた施設として役割を果たす為に、まずは職員間の連携を強める事の必要性を感じながら日々業務にあたっています。

具体的には、入所担当のリハビリスタッフはフロア専従としており、多くの時間を利用者様の生活場面にいることで他職種との連携が非常にしやすい環境となっています。その中で、より良い ADL 評価・訓練を行うには実際場面を体感することが最も重要という視点のもと、ナースコール対応をはじめ、排泄介助や入浴介助、毎日の食事介助も積極的に行っております。このような動きは、介護士さんの業務負担軽減にもつながる為、介助方法や自主訓練時の見守りなど、リハビリスタッフからの要望も受け入れられやすく、「利用者様の残存能力を生かした生活」を目指す上でよい相乗効果をもたらしています。また、デイケア担当のリハビリスタッフにおいては、

日々の送迎業務に加え、ケアマネージャーやヘルパーと自宅へ同行する機会をできるだけ多く設けることで、利用者様のより多くの生活場面を他職種の方々と共有できるよう心がけています。このような日々の動きに加え、今年度法人内にリハビリに関する資格を設け、介護士の方をはじめ看護師、栄養士などより多くのスタッフで「リハビリ」の視点を共有することにより、リハビリはセラピストが利用者様と一対一で行うものだけではないという考えが法人内に浸透しつつあります。手前味噌で恐縮ですが、このような取り組みは、ほのぼの苑が超強化型老健として機能している要因の一つであると感じています。また、来年度は訪問リハビリの強化や配食サービスへの同行など、地域に出向く機会を増やすことで、より地域に必要とされる施設を目指していきたいと考えています。以上が簡単ではありますが、ほのぼの苑リハビリ科の紹介になります。

現在もコロナ禍の真っ最中であり、それまでは当たり前であった面会が制限され、利用者様とご家族はもちろんのこと、地域との隔たりも大きくなっています。どうしてもネガティブになりがちではありますが、コロナが収束した際におおきく飛躍できるよう、今はその準備期間。言うなればジャンプする前のしゃがんでいる状態のようなもの。そう言い聞かせながらスタッフ一同これからも邁進していきたいと思えます。



## トピックス

### 元気があればなんでもできる！皆さんに届けたい！

#### 秋田の大人世代向けフリーペーパー「ももふく」

社会福祉法人北杜 障がい者支援施設ほくと 若狭 利伸

前月号より連載の機会をいただいております、秋田市にある障がい者支援施設ほくと若狭利伸と申します。

前回は、職場や地域で取り組んでいる e スポーツについて紹介しましたが（今後、また紹介していきます！）、今回は私が編集部メンバーの一員として活動している「秋田の大人世代向けフリーペーパーももふく」（以下、ももふく）について紹介したいと思います。

ももふくは、秋田県主催の若者活躍プラットフォーム構築事業「あなたラボ」から生まれた小さなフリーペーパーです。編集部のメンバー構成は20～30代で、OL編集長を筆頭に、明治時代から続く鋳物屋、イラストレーター、現役大学生、そして作業療法士の私と、職種も多岐にわたります。

読者ターゲット層は、定年退職後の年代以降としており、身近な寄り添えるフリーペーパーとして、秋田の昔を振り返るノスタルジーな思い出特集から、生活に役立つ健康・美容情報などを掲載中です。また、繰り返される日々の生活のなかで、楽しみを見つける・悩みを解決する・人生を見つめるといった、あらゆるキッカケにしてほしいという想いでお届けしています。発行ペースは、半年に1回。秋田県内のスーパー、県庁・市役所、道の駅、図書館などでGETできます（各号1万部限定）。

「具体的にどんな記事が書いてあるの?」と気になる方のために、過去の記事タイトルを紹介いたします。「あの日あのと時の木内百貨店」「思い出と命をつなぐ秋田の動物園」「たけや製パンの歴史と人気パン」「秋田の多彩ながっこ文化」「髪に優しい白髪との付き合い方」「大人のためのビフォーアフター」「健康寿命を延ばす! 運動メニュー」「夫婦の趣味の見つけ方」 etc... どうですか? 生活に関わる作業療法士なら気になる話題ばかりではないでしょうか?

そして今回、私が一番伝えたいことは…【秋田県内の作業療法士が働く現場でも、ぜひももふくを読んでいただきたい】ということです! 病院、クリニック、高齢者施設、デイサービス、障害者施設等々、読者ターゲット層にあたる方々に関わる機会の多い作業療法士の皆さんに、ももふくを現場で活用していただきたいと考えております。日常会話、リハビリ中の話題、回想法、集団レクなど、コロナ禍で制限が多い中ではありますが、ももふくが作業療法ツールの1つになれば嬉しいです。

現在、大変嬉しいことに上記の配布場所に置いてもすぐに無くなってしまいう人気フリーペーパーになりつつあります。でも安心して下さい! 今、きりたんぼを読んでいる作業療法士のアナタは超ラッキーです。何故なら…私の手元にバックナンバー含めて、ももふくがあるから。ぜひ、「ももふくを読んでみたい!」「患者さん、利用者さんに読んでほしい!」という方は、障がい者支援施設ほくと 若狭 (otwaka0306@yahoo.co.jp) までご連絡をお待ちしております。その際に、所属先、住所、お名前、必要部数 (1~30部)、お渡し方法 (直接 or 郵送) を記載していただけますと幸いです。数に限りがありますので、早い者勝ちです!

今後もももふくでは、様々なジャンルの記事を掲載していきたいと考えております。職場内だけではなく、外に発信したいことがある作業療法士の方も大募集中です。こちらにも上記メールアドレスまで、ご連絡お待ちしております。今年もたくさん作業療法士の魅力を地域に発信しちゃいましょう! では、最後に…いち、に、さん、ダーッ! ありがとうございます!



## 広報誌編集部から

- ・研修会情報をお知らせしております。

余白を有効活用して県内で開催される講習会・研修会情報を公開しております。院内での小さな勉強会でも構いません。「他の病院から参加者を募り、実りある研修にしたい」「情報交換をしてお互いの技術や知識を高めたい」その思いが秋田の作業療法を発展させます。みんなで秋田を盛り上げていきましょう。情報をお待ちしております。

宛先はこちら ➡➡ [akita\\_ot\\_kouhou@akita-ot.sakura.ne.jp](mailto:akita_ot_kouhou@akita-ot.sakura.ne.jp)

広報部の  
メールアドレスが  
変更になりました!!



# みんなと語るべ ～日々の楽しみ方～

語り手:大曲中通病院

私が最近ハマった事は、アンパンマンのガチャガチャです。1歳8カ月の息子を喜ばせようと数年ぶりにやりましたが、お目当てのアンパンマンがなかなか出ず…

同じキャラクターが被り悔しがったり、気付けば必死でした(笑)。費やした金額でおもちゃが買えましたが、振り返ると楽しかったです。先日めでたくアンパンマンが出たので、ガチャガチャ生活終了です。



私は食べ物の好き嫌いがとても多いですが、お好み焼きだけは小さい頃から食べていて毎日食べたいくらいお好み焼きが大好きです。大学入学を機に一人暮らしを始めてからはどの食材を入れるか考えることが日々の楽しみになっています。おすすめの食材は海鮮で、家でもお店でも必ず食べています。皆さんのおすすめがあれば教えてください。  
下さい。

病院(リハビリテーション室)の中が殺風景なので、季節に合わせてデコレーションすることが私たちの日課になっています。12月にはアクティビティの学習会を兼ねて、スタッフみんなでリース作りをしました。物作りが苦手だというスタッフも黙々と作業に取り組み、各々の個性たっぷりの作品が出来上がりました。



新企画案内『みんなで語るべ～日々の楽しみ方～』

- ・内容：日々の中での楽しみ方や仕事の一場面,最近やってみた事等.
- ・文字数：140字～160字 ・写真：1枚
- ・施設名のみ掲載させて頂き,原稿執筆者の名前(イニシャル含む)は掲載しません.1回の発行につき,2～3名にご協力頂きたいと思っております.

編集後記



寒い日が続いていますね.皆様はいかがお過ごしでしょうか.毎日の雪かき大変ですね.私も腰痛・膝痛が慢性的になってきております(笑).

私の住む北秋鹿角地域では例年よりも寒く,降雪量も多い印象があります.皆様のお住いの地域ではどうでしょうか?

今回のきりたんぽを編集している今現在は1月後半です.もう少しで立春を迎え,暦の上では春となりますね.東北はまだまだ寒い時期が続きます.体調管理や車の運転には十分に注意して過ごしましょう. (鎮さん)

<p>(一社)日本義肢協会登録 東北 101 号</p> <p> 株式会社 千秋義肢製作所</p> <p>~~~~~ 義手・義足・装具・車椅子 リハビリ用品 ~~~~~</p> <p>秋田市新屋豊町 1-22 TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126 <a href="http://www.sensyugishi.co.jp">http://www.sensyugishi.co.jp</a></p>	<p>SAKAImed</p> <p>立位移動補助具 アクティーモ NR</p> <p><b>actimoNR</b></p> <p>早期活動を促す 新しいリハビリテーション</p> <p>脳卒中発症後早期の方でも、下肢・体幹を支持保持して安全に立位姿勢を保てる設計で、早期からの立位・移動リハビリテーションに最適です。</p>  <p><b>お問い合わせ先</b> 酒井医療株式会社 <a href="http://www.sakaimed.co.jp">www.sakaimed.co.jp</a></p> <p>東北支店 盛岡営業所 (青森・秋田・岩手エリア担当) TEL : 019-656-5336</p> <p>東北支店 仙台営業所 (宮城・山形エリア担当) TEL : 022-390-6840</p> <p>仙台営業所 郡山オフィス (福島エリア担当) TEL : 024-927-0231</p>
---	---